

# 2026年 2月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 2月 1日 (日) 集会 (クリエート浜松22号室)  
司会：武井 めぐみ  
聖書講話：テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 4章13節～5章28節  
「終末時のキリスト者の生き方(その2) -主と共に生きる」  
水戸 潔
  
- 2月 8日 (日) 集会 (市民協同センター 第3研修室 2階)  
司会：溝口 春江  
聖書講話：コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章18節  
「土曜学校講義『アウグスチヌスの告白』を読む(その3-少年期と成年前記まで)」  
永井 徹
  
- 2月22日 (日) 集会 (クリエート浜松51会議室)  
司会：生江 扶左子  
聖書講話：マタイによる福音書 3章13～17節  
「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」 武井 陽一

## 聖書を学ぶ姿勢

溝口 正

私の聖書の学びは集会で講義をするためという側面がある。しかし私は、自分の聖書勉強の仕方に、最近疑問を感じ始めている。私は人に聖書を語る目的を棄てて、まず自分自身が神の真理を知るために学ばねばならない。人に講義するためではなく、自分自身が神と霊交を深めねばならない。人に伝えるためにではなく、自分自身の救いのために、聖書の奥義を究めねばならない。聖書の学びに全存在をかけねばならない。

聖書講義は、こうして私の魂の奥底に啓示された神の真理を、そのまま人に証するだけのことである。言わば、学びの副産物に過ぎない。私にとって聖書を学ぶことは、その都度、生きるか死ぬるかの最終問題に真向うことである。生命の水を飲むか否か、生か死か、それは聖書を学ぶ姿勢にかかっている。人は聖書を学ぶ態度をそれぞれ自分で決めねばならない。

(1978年6月『復活』第148号)